

【提言骨子（案）に対する意見募集】国土交通省河川局ホームページに意見募集サイトの設置

（平成20年3月21日（金）～平成20年4月21日（月））

【これからの川の管理についてのアンケート】アンケートサイトの開設（平成20年3月17日（月）～平成20年3月25日（火））

## 情報提供に関する意見

- ある程度の年齢の方々ならばインターネット等で河川の情報を得ることができそうですが、年配者などには難しいと思います。ラジオやテレビ、地域放送等を通じて簡単に分かり易く情報を得られるようにしていただきたいです。それと災害時だけではなく普段からそれぞれの様な形で情報を得られるのを知っておく(教えておく)必要があると思います。
- このアンケート自体はユビキタス社会に向けた内容だが、これからの高齢者社会を考えるに、ネットも携帯も身近でない人々は確実に増える。確かにネットでダム水位や河川の警戒水域などがわかるのは便利だが、高齢者向けに新聞やチラシ、印刷物や広報車での呼びかけなど、ある意味アナログ的な手法も依然重要だと思う。
- ライブ映像を充実して欲しい。
- 水量とか水質とかどんなのか、ネットですぐに見れたら便利。河川工事の予定とかの情報を、一般の人も知れたらいい。
- 河川の氾濫につながる気象情報を早めに提供するとともに、注意すべき地区については避難場所への経路を示して欲しい。
- 河川愛護モニターをしております。現状月一回のレポートを郵送でと言う形になっておりますが、愛護モニターと、河川管理者のソーシャルネットワークのような形で情報のリアルタイムなやり取りや共有が必要ではないかと常に感じております。
- 河川管理者が決定した計画ばかり流すのではなく、構想段階での情報の公開を行い、適切に修正、改正を行っていくべき。河川に対しては広い意見が存在することを前提として議論することが必要。
- 過去の事故などがどのようにして起きたか知りたい。
- 上流にダムがあるが、放水による増水の情報がサイレンしかない。地上波アナログのTV放送では仕方がないが、三年後に全面的にデジタル放送に変わるのだから、それを利用した局地的な報知システムを考慮してほしい。
- 地デジの文字情報で配信して頂けると助かります（川を登録し、危険水域に達したらお知らせがでる）。
- 緊急時の河川情報をメールで配信して欲しい。
- 情報の発信元が多すぎると混乱も多くなる。信頼できる情報元のみ情報発信するようなフィルター的な仕組みも必要ではないでしょうか。

## 河川の管理に関する意見

- 国民から見て、河川管理者がどのような維持管理を日常行っているか、認識しづらいと思います。
- 我が家の近くを流れる川の管理主体が、国か県か市か区かわからない。また一口に川といっても、川畦の遊歩道もあれば堰堤、石垣、中州、橋梁などで管理主体が違ふようで、判りにくい。管理側で市民からの苦情や情報提供を一元的に集中できるシステムがあるかどうか？
- 河川の情報だけでなく、その周辺の土地について（例：水が溢れた際の被害予想地）もいろいろ調査されていれば便利。
- 河川敷の有効利用について、地域の要望や希望をきめ細かく把握し地域社会の為に生かしてほしい。
- 災害を防ぐには常日頃から川をきれいにしておく必要がある。
- 全てを実行するには時間と労力（人数の）を多大に要するが、それでも、河川が密接に在る地域やそうでない地域も何時起こっても良い様に（前以て起こらない様にする為にも）そのシステムを整備する必要があるのだと思う。

## 連携に関する意見

- ユビキタス社会だからでなく、河川に関心もつようにする仕組み、戦略が必要。そうした運動であれば、みんな、関心持つようになり、河川に気をつけるようになる。NPOなどとの連携大切。
- 他省が進めるICT関連施策との連動が必要。
- 避難時に、何らかの形で自動的に「避難し始めた」ことが行政側に伝わる仕組みなど、行政・市民が一体となった仕組みづくりも必要かと考えます。
- 企業等の参加を促すインセンティブ制度の検討が必要。
- 住民の参画と言いましても、住民は河川管理そのものの認知度が高いとは言いつれないのではないのでしょうか。現状の河川管理の問題は何か、どのような不安要素が想定できるのか、住民に対するPRにより重きを置く方策も必要ではないか。